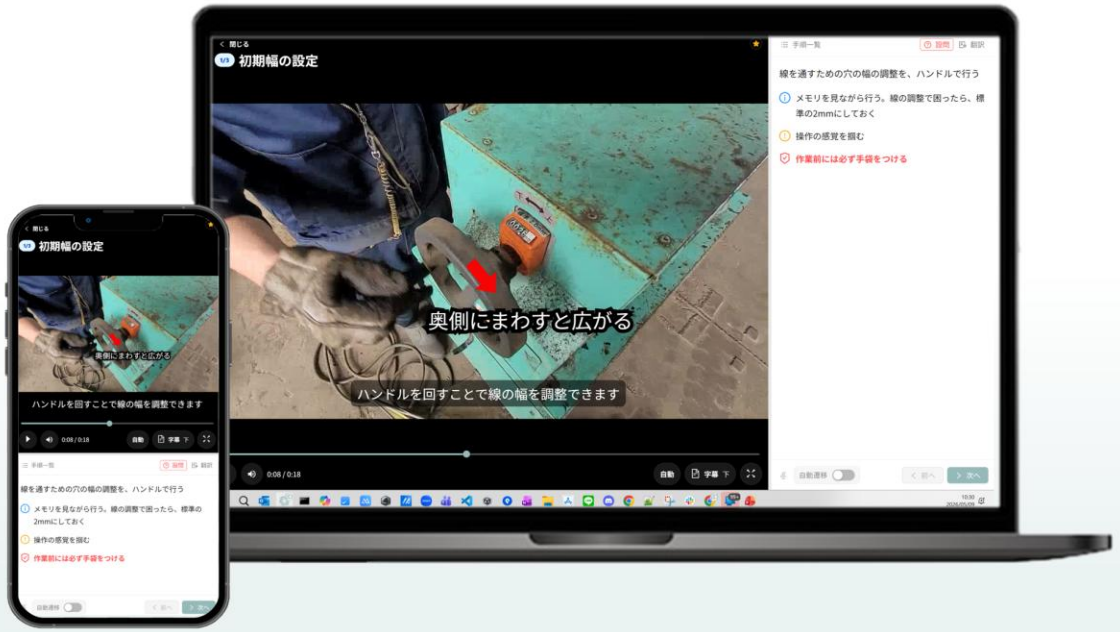
Dive

手順書は、撮るだけでできる。
力量表は、日々の実績で自動更新。



ver. 2026/11/16_r1

会社紹介

Episotech

ミッション

多様な人材が活躍する基盤をつくる

会社名	エピソテック株式会社（東京、設立2020年）
事業内容	1. 現場向け手順書管理システムDiveの企画 / 開発 / サービス提供 2. Diveを活用したDXコンサルティング
調達実績	福井コンピュータHDのCVCより 2023年11月に3,000万円調達
第三者認証	**ISO/IEC 27001:2022（ISMS）**
特許	**３件**（作業動画編集システム、動画編集プログラム及び記録媒体）

代表取締役



内藤 優太

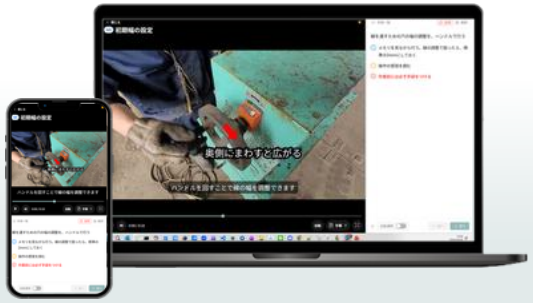
横河電機にて、**xR技術を活用した技術伝承ソリューションの新規事業開発をリード。**
現場の課題を起点とした事業構想力を持つ。

YOKOGAWA

© Episotech Ltd.

実績

Dive



現場向け
手順書管理システム

手順書は、撮るだけでできる。
力量表は、日々の実績で自動更新。

登録企業

登録企業
1,000社以上

継続率
99%以上※

※ 2026年8月時点（直近3ヶ月平均）。有償の年間契約における集計。

株式会社JALグランドサービス / TEKKEN / Sg logistics / 相鉄企業株式会社
FURUNO / kaneka / DENSO / UNITIKA We Realize It!
日鉄環境エネルギーソリューション / SHINKOH / WORLD SUPPLY / AKTO

受賞歴

総務省後援 ASPICクラウドアワード2024
ベンチャーグランプリ受賞

東京都後援 Tokyo Content/Solution Business Award 2023
受賞

共創採択

自治体：4件



徳島県


東京都5G



山梨県


品川区

事業者：3件



佐川グループ



相鉄グループ


古野電気

© Episotech Ltd.

こんなお悩みありませんか？

① 作るのが重く、続かない

書くのも清書も改訂も担当者が抱え、動きは文字で伝わらない

② どれが最新か、現場で分からない

ファイルがあちこちにあり、承認や改訂の記録もばらばら

③ 教えるのも確かめるのも、人頼み

手順どおりにできているかは、ベテランが付きっきりで見るしかない

※ 動画マニュアルを導入した製造現場でも87%が「見ても結局、先輩に聞く」（エピソテック 製造業の実態調査 2026年6月）

軽く作れて、最新版が現場に届き、付きっきりなしで育つ仕組みが要る

Diveとは ── 2分の紹介動画

撮るだけで手順書ができ、現場で使われて人が育つまでを、実際の画面でまとめました



スライドショーや PDF では、画像をクリックすると再生します（YouTube）

動画の流れ

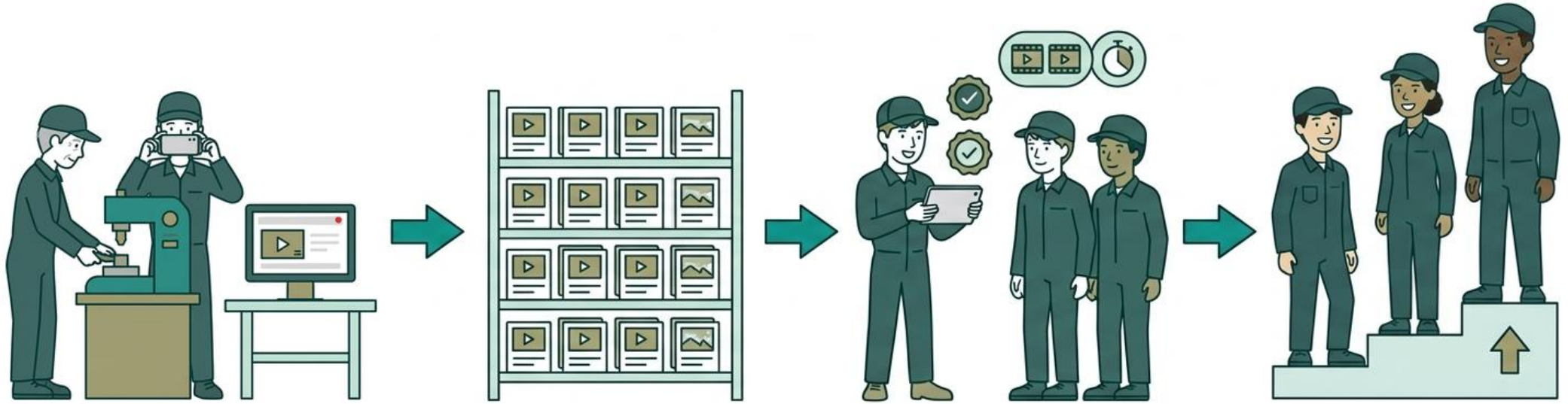
0:00 こんなお悩みありませんか？
0:13 **撮る・取り込む：**いつも通りを撮るだけ
0:18 AI が手順に分け、すべきこと・コツ・注意まで
0:27 いつもの様式で書き出し（特許出願中）
0:32 今ある手順書もファイルのまま登録・翻訳
0:48 **すぐ整う：**承認した最新版だけを現場へ。QR で開く
0:58 **実践する：**見ながら作業し、確認に答える
1:09 **手順書と比較：**AI が見比べ、次に直す点を伝える
1:18 **育つ・残る：**力量表が自動で更新。ISO の証拠にも
1:33 まとめ

スマホで読み取っても再生できます
divedx.com/ja/video

© Episotech Ltd.

解決アプローチ

作るところから人が育つところまで、ひと続きで回る現場向けの手順書管理システム



1 撮る・取り込む

現場の作業も PC の操作も、
撮るだけで手順書ができる
今ある手順書も、そのまま登録

2 すぐ整う

手順書がひとつにまとまり、
承認した最新版だけを現場へ
QR からすぐ開ける

3 実践する

見ながら作業し、確認に答える
だれが、いつ、どこまで
できたかが記録に残る

4 育つ・残る

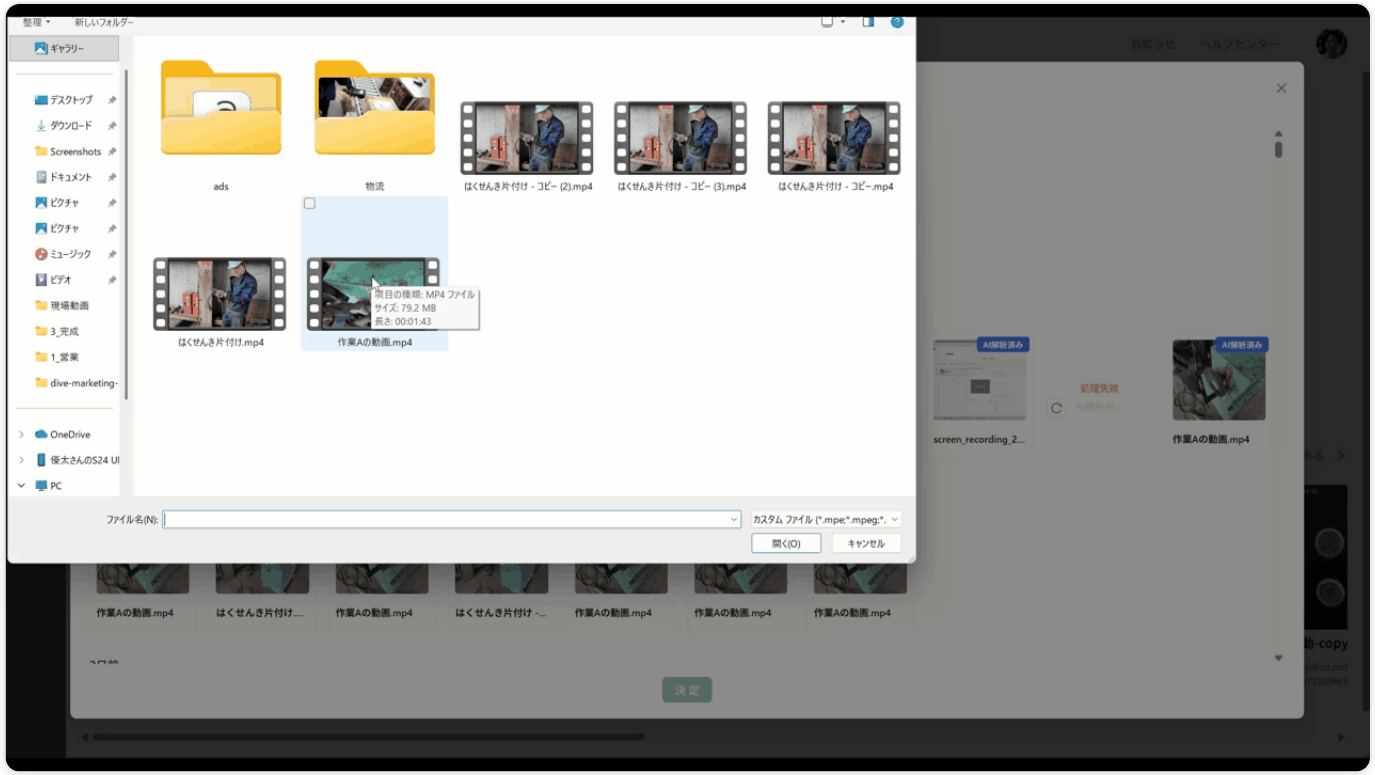
できた記録やコースの修了で、
力量表を自動更新
評価の根拠も残り、ISO の証拠にも

手順書は、撮るだけでできる。
力量表は、日々の実績で自動更新。

© Episotech Ltd.

撮るだけで、AIが手順書に

特許の仕組みと、動画を理解する生成AI（VLM）で、動き・物・音声を解析。手順の区切りを自動で見つける。話すのはポイントだけでOK



▶動画版を見る: https://youtu.be/Qr7RmJFRyUQ

AI に任せる

- 手順分割
  - 工程/手順/動作
- 体系的に整理
  - すべきこと、コツ、品質注意、安全上の重要事項
- 使用物の抽出
  - 部品、材料、工具
- 手順名の生成
- 字幕の生成
- 冗長シーンのカット
- 注釈の挿入
- 設問の生成
- 音声があれば、それも処理に反映

区切らず、いつも通りを撮るだけ。話すのはポイントだけでいい。PC の画面録画からも作れる

© Episotech Ltd.

手順書ができあがる

いつもの様式に出力

特許出願中

XLSX 見本_製造業_作業要領書.xlsx

作業要領書		文書番号		承認	審査	作成
作業名	カバー取付およびトルク管理手順	版	7			
概要	コンセントカバーと板金カバーを取り付け、規定トルクでの締め付けおよびダブルチェック、マーキングを行う手順です。	制定日	2026/08/18			
使用部品	金属カバー ねじ	改定日	2026/10/20			
使用工具	電動ドライバ マーキングペン	保護具			標準時間	2分21秒

No.	主なステップ	作業の内容	急所(コツ)	品質・安全の注意	参照写真	秒
1	配線状態の確認と準備	・端子台の配線状態を整え、部品を配置する ・電動ドライバーのトルク設定を確認する ・端子台の配線やブザーの配置を微調整する	配線が挟まらないように整える	ブザーやコンセントの配置位置が正しいか確認する 配線の芯線を傷つけないように注意する		21
2	金属カバーの配置と仮締め	・金属カバーを端子台の上に被せる ・電動ドライバーでカバー右側および中央のねじを仮締めする	カバーを被せる際、配線を挟み込まないように注意する	ねじは最初から強く締めず、仮締めにとどめる カバーの金属エッジで手を切らないように注意する		26
3	カバー上面ねじの本締め	・電動ドライバーのトルク設定が0.7N·mであることを確認する ・電動ドライバーでカバー上面の各ねじを規定トルクで本締めする	対角線上にバランスよく締め付ける	規定トルク(0.7N·m)が正しく設定されているか確認する 電動ドライバーの反動で手をぶつけないように注意する		37
4	カバー側面および手前ねじの本締め	電動ドライバーでカバー側面および手前の各ねじを本締めする	ねじが斜めに入らないように垂直にドライバーを当てる	締め忘れがないように順序よく本締めする 電動ドライバーのビットが滑って製品を傷つけないように注意する		30
5	ねじ締めのマーキングと最終確認	・本締めしたねじの頭部に緑色のマーキングペンで印をつける ・全体の組み立て状態を最終確認する	マーキングはねじ頭部とカバーにまたがるように描く	本締めが完了したねじすべてにマーキングされているか確認する		27

Dive のプレイヤーで見る



https://app.divedx.com/share/-P-RW6dXXR_K5s_uN9zx

© Episotech Ltd.

自社フォーマットへ出力

自社の作業標準書の様式のまま、手順書を書き出す（特許出願中）

① 登録した様式のまま書き出す

Excel・Word・PowerPoint。罫線・列幅・ロゴもそのまま。

② 数式・マクロの参照がずれない

行を増減させないので、押印欄のある文書もそのまま出せる。

③ 様式に差し込みタグを入れるだけ

書き方は Excel・Word・PowerPoint で共通。



作業手順書

管理番号	SOP-2026-014	版数	1	承認	確認	作成	月
制定日	2026/04/01	改定日	2026/07/15				
工種	組立	対象製品					
作成部署	製造部 組立課	適用区分	全ライン				

作業名	カバー取付およびトルク管理手順
作業の概要	コンセントカバーと板金カバーを取り付け、規定トルクでの締め付けおよびダブルチェック、マーキングを行う手順です。
使用工具・保護具	

No.	作業項目	作業要領	秒数	区分	参照図・写真	安全・品質のポイント	予想される不具合	確認
1	コンセントカバーの仮留め	・コンセントカバーを所定の位置に配置する。 ・電動ドライバーのトルク設定が「1」であることを確認する。				ドライバーのトルク設定を必ず確認する。	カバーがずれないように位置を合わせる。	
2	板金カバーの仮留め	・板金カバーを基板の上に配置する。 ・電動ドライバーを使用して、板金カバーのネジを仮締めする。				ドライバーでカバーを傷つけないように垂直に当てる。	ネジを斜めに締め込まないように注意する。	
3	1回目のトルク締め	・トルクドライバーのトルク設定が「0.7 N・m」であることを確認する。 ・各ネジを規定トルクで本締めする。				トルクドライバーがカチッと鳴るまで確実に締める。	締め忘れがないように順番に締める。	
4	2回目のトルク締め	別の作業者が、同じトルクドライバー（0.7 N・m）を使用して2回目のトルク締めを行う。				ダブルチェックは別の作業者が行うことで信頼性を高める。	1回目と異様に、すべてのネジを確実にチェックする。	
5	ネジのマーキング	2回目のトルク締めが完了したネジの頭部に、黒ペンでマーキング（合いマーク）を施す。				ネジとカバーにまたがるように正確にマークする。	マーク漏れがないか最終確認を行う。	
		合計標準時間						

改定履歴

版数	改定日	改定内容	起案	承認	承認日
1（現行）	2026/08/19 09:34	字幕読み上げ注意	yuta.naito@episotech.com	yuta.naito@episotech.com	
0	2026/08/18 16:57	（なし）	yuta.naito@episotech.com	yuta.naito@episotech.com	

ポイント

- 手順・コツ・注意・安全・設問・字幕・画像・QR・表紙を転記
- 改訂履歴（Rev・改訂内容・起案者・承認者など）も様式の枠へ
- マクロを含む様式も、マクロを保ったまま往復できる
- 登録した様式はチーム共通。手での転記がなくなる

© Episotech Ltd.

手順書と見比べて、次に直す点がわかる

作業者の動画を AI が手順書と見比べ、次に直す点をご本人に伝える

① 手順書と、手順ごとに見比べる

作業者の動画を、手順書の動画と手順ごとに並べて比べる。

② 手順書と違う所だけを伝える

理由と直し方を添えて、「次に直す点」にまとめる。

③ 付きっきりでなくても育つ

結果は毎回残り、前回の直す点が直ったかも確かめる。





ポイント

- 手順ごとの状態（違いあり・抜けなど）とスコアも出す
- AI 処理済みの Excel・Word・PDF なども基準にできる
- AI は合否を決めない。判断は結果を見た方が行う
- 改訂後は「旧版」と表示して取り違えを防ぐ

© Episotech Ltd.

実績で育つ力量表

手順書をひとりでやり切った実績で、力量が自動で上がる。見比べた結果をもとにした評価も、同じ履歴に残る

① スキルに手順書を紐づける

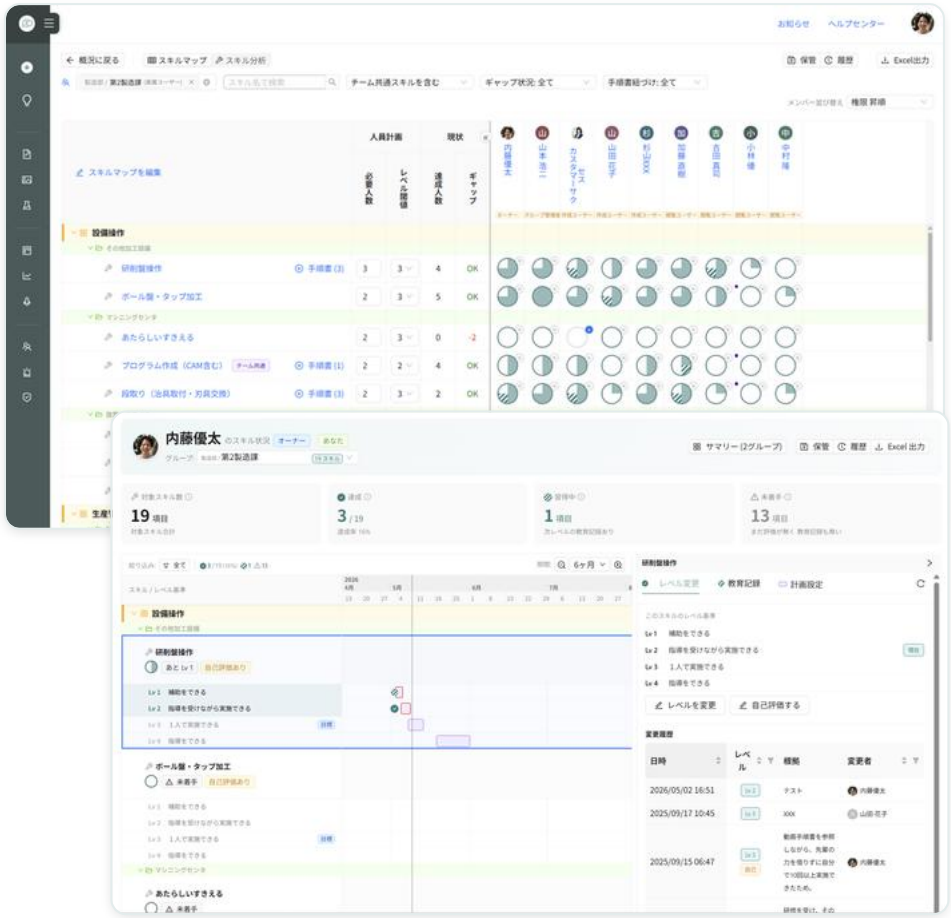
何を学ぶかが本人にわかり、必要な手順書にすぐ辿り着ける。

② ひとりでやり切ると、レベルが上がる

コース修了・資格取得でも上がる。見ただけでは上がらない。

③ 見比べた結果から、人が評価する

スコアと次に直す点を見て評価でき、スコアも記録に残る。



ポイント

- Lv1〜Lv4 の4段階で、誰がどこまでかがすぐ分かる
- 業種別のテンプレートで、すぐに作り始められる
- ISO 9001「7.2 力量」の運用を支える
- 育成担当・計画期間をまとめて変え、本人と担当に知らせる

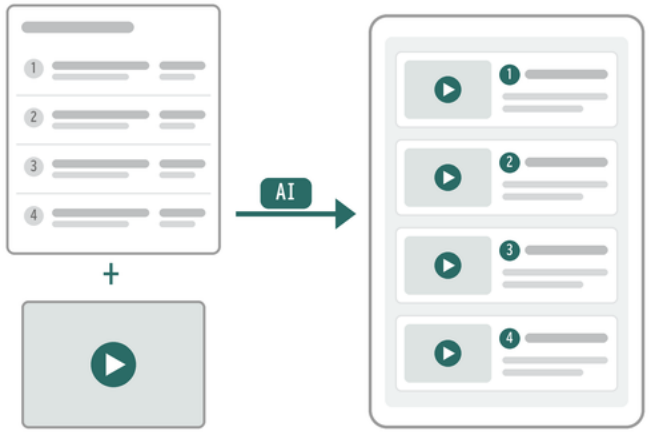
© Episotech Ltd.

今ある手順書が、そのまま現場で守られる

今の手順書は、ファイルのまま Dive に登録できる。そのうえで「伝わらない」「確かめられない」を、書き直さずに補う

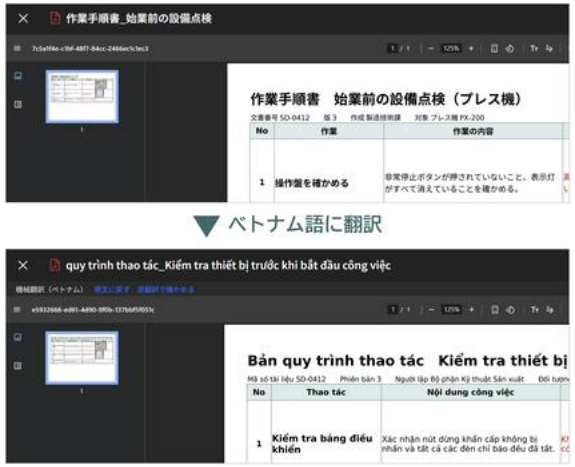
① 手順書を参考に、AI が動画を分ける

撮った動画を今の手順書と AI にかけ、
見出し・順序・文言は変えずに切り分ける。
足りないコツや注意は動画から補う



② ファイルのまま、母国語に訳す

Excel・Word・PowerPoint・PDF を体裁のまま訳す。画像の中の文字まで訳し、逆翻訳で確かめられる



③ 今の手順書とも、作業を見比べる

手順書との見比べは、Dive で作った手順書に限らない。今の Excel・Word・PDF の手順書でも、作業を手順ごとに見比べられる



正本の管理は今までどおり。現場で伝え、確かめる所を Dive が担う

© Episotech Ltd.

類似ツールとの比較

	Dive 手順書＋力量表 一体型	通し動画型	ステップ構造型	動画整理型	スキル管理型
撮った動画から手順書を自動作成	◎ AI が手順に分けて文章化 （PC の画面録画からも）	△ 字幕の自動作成	○	△ 字幕の自動作成	△ 字幕・読み上げ
今ある手順書をもとに作る	◎ 手順の数・順序を引き継いで解析	△ PDF から素案 （ベータ版）	○ 動画と Excel を 合わせて AI が作成	△ 登録止まり	△ PDF にして登録
今ある手順書をファイルのまま翻訳	◎ 体裁を保ったまま訳す 画像の中の文字も訳す	× 訳すのは字幕のみ	× 訳すのは 手順書の文字のみ	△ PDF・Office の 文字を訳す	△ PDF 等の文章を訳す
ファイルに書き出す（自社の様式にも）	◎ 自社の様式のまま書き出し PDF・Excel・Word・PowerPoint も	○ MP4	△ PDF のみ	× 手順の動画のみ	△ PDF
手順ごとに動画＋文章＋設問	◎ 作業・コツ・注意・安全を文章に	× 通しの動画＋字幕 文書のマニュアルは別	△	× 動画の整理が主	△ 字幕＋理解度テスト
訳の深さ（専門用語集・逆翻訳）	◎ 専門用語集で訳をそろえる 逆翻訳で確かめて直せる・192 言語	△ 100 言語級 字幕の訳を直せる	○ 26 言語 翻訳辞書	○ 27 言語 用語登録（依頼制）	△ 20 言語以上 （動画マニュアル）
有償プラン終了後のデータ	◎ 残る（自動で無料プランへ）	× データ削除	× データ削除	× データ削除	―
教える（コース・設問）	◎ コースを割り当て、 手順ごとの設問で確認	△ 簡易テスト	○ コース＋テスト	△ 視聴履歴で把握	○ 教育計画・受講管理 理解度テスト
育てる（力量表）	◎ 作業の実績で自動更新・履歴が残る	○ 人が評価	△ 別製品で人が認定	×	○ 受講・資格から 自動で反映
比べる・測る（作業分析）	◎ 手順書との比較（スコア） 要素分解・標準時間	○ 要素分解・ ベテランと新人の比較	×	×	×
無料プラン・最小料金	◎ 無料プランあり・Lite ¥10,000/月〜	△ 中〜大企業向け 無料プランなし	△ 中〜大企業向け 無料プランなし	△ 中〜大企業向け 無料プランなし	△ 料金は非公開

各型の代表的なサービスの公開情報をもとに当社で整理（2026年11月時点）　×：公開情報に該当機能なし　―：公開情報で確認できず

撮るだけで手順書ができ、日々の実績で力量表が自動で更新される。
小さく始めて、作ったものは資産として残る

© Episotech Ltd.

こんなお困りごとも、解決できます

ここまでのほかにも、よく聞くお困りごとに応えられます

ISO の運用を楽にしたい

**手順書と力量表を、
ひとつの仕組みに**

承認・文書番号・改訂の記録
監査に出せる力量表

手順どおりの作業を徹底したい

**ちゃんと作業したかを、
あとから追える**

答えるまで進めない設問
写真の提出と AI の二重チェック

チェックシートを電子化したい

**手順書が、
そのままチェックシートになる**

外れた答えは「異常」として記録
点検表に書き出し

手順書が使われているか知りたい

**だれが、いつ、
どこまで見たかが分かる**

閲覧記録・つまずきマップ
活用レポート

教育の進捗を見える化したい

**だれがどこまで進んだか、
ひと目で分かる**

コースの割り当て・期限の通知
確認テストの結果

作業のムダを減らしたい

**撮った動画から、
ムダと時間を見つける**

かんたん分析・時間分析
改善の前後の比較

XR を活用したい

**現場の作業に、
AR・スマートグラス・360度を**

対応グラス 10 機種以上
ブラウザで AR・VR で見る

セキュアに AI と動画を活用したい

**社外秘の作業の動画も、
安心して AI にかけられる**

東京リージョンに保管・学習に使わない
SSO・2段階認証・IP 制限

© Episotech Ltd.

品質管理の観点 — ISO 9001 の要求ごとに

品管の課題＝ISO の遵守。要求ごとに、Dive を使うだけで何が揃うか

要求事項	求められること	よくある悩み	Dive では
7.1.6 組織の知識	必要な知識を明確にし、維持し、使える状態にする	ベテランの技能が人に付いたまま	撮るだけで、技能が手順書に残る
7.5 文書化した情報	文書を作り、改訂し、版を管理し、必要な所で使えるようにする	標準書と動画・手順書の二重管理。現場に古い版が残る	今の様式のまま書き出せる（特許出願中）。 現場は QR で公開中の手順書を開く。改訂の履歴と承認が残る
7.2 力量	力量を明確にし、教育し、有効性を評価し、記録を残す	力量表を人が転記し、監査の前に整え直す	手順書をひとりでやり切った実績でレベルが上がり、履歴が残る
8.5.1 製造の管理	力量のある人に作業させ、手順を使える状態にする	資格の無い人が作業していないか分からない	手順書に必要な資格を紐づけ、未取得の人が開くと警告する
9.1・10 監視と改善	結果を測って評価し、改善する	教育が効いたか、作業が良くなったかが見えない	活用レポート、手順書との比較、作業分析

ISO のための仕事を増やさない。
現場が使うだけで、文書・力量・記録が残っていく

© Episotech Ltd.

導入事例

実際の現場で、効果が出ています

設備メンテナンス

相鉄企業 様



80%

作成時間削減

Before: 編集時間 5時間/個、長尺動画で誰も見ない

After: 編集時間 1時間/個、現場作業中に使われる

「別営業所からの応援者への即戦力化が楽になった」

物流

佐川グローバルロジスティクス 様



90%

教育期間短縮

Before: 教育は現場社員が都度対面

After: 動画手順書+スマホで代替

「教育内容の標準化も進んだ」

製造

カスタム電子 様



一元化

ISOの力量管理に活用

Before: スキルマップも教育記録もExcelで別管理

After: 規定・手順書・力量記録をDiveに一本化

「ISOの認定審査で、めちゃくちゃ褒められた」

※インタビュー記事はこちら

© Episotech Ltd.

セキュリティへの取り組み

Diveを安心して利用いただくため、様々な角度からセキュリティ対策・運用を実施

第三者評価・実績

– ISO/IEC 27001:2022 認証取得 (2024年11月)

– Assured (第三者評価PF) 91.1点 / 全体平均76.8点

– 経産省『クラウドサービスレベル チェックリスト』

– 上場企業・大学への導入実績多数

IAS ACCREDITED Management Systems Certification Body
MSCB-113

G-CERTi SYSTEM SERVICE
GIJP-1469-IC
ISO/IEC 27001:2022

認証・アクセス制御

– SSO (SAML 2.0)・名簿同期 (SCIM)

– 2段階認証 (TOTP) / 全員必須化も可

– IPアドレス制限 (特定環境のみ許可)

– 段階的アクセス権限 (ロール × グループ)



データ保護・運用

– 全通信 HTTPS 暗号化 + DB/ファイル暗号化

– Google Cloud (東京リージョン) で動画保管

– 24時間365日 サーバー監視 / 自動バックアップ

– 監査ログ (ログイン・セキュリティ操作等を記録)

Google Cloud

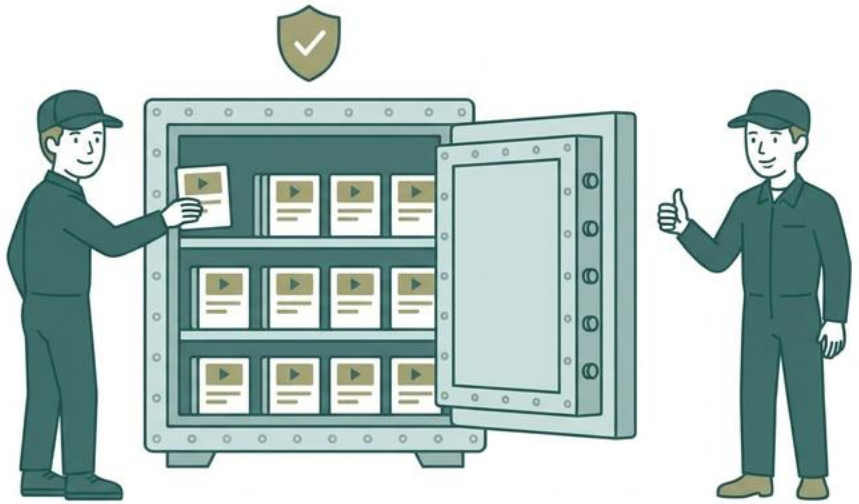
■ 動画解析AIは『再学習しない』設計 ― 機密ノウハウを安心して AI 解析にかけられる

・Dive の動画解析 AI は Google Cloud 上で、弊社が管理する環境の中で実行
・Google Cloud の契約に基づき、お客様データは AI の再学習に使用されません
・業務手順という機密性の高いノウハウを、安心して AI 解析にかけていただける設計

© Episotech Ltd.

作った手順書は、自社の資産として残る

有償契約終了後も、積み上げた現場の知は消えない設計





自動 Free 移行

更新しない場合は Free プランへ移行。手順書は引き続き見られます。
手順書・動画素材・利用履歴などのデータは削除されません。
※ Free の上限（3アカウント）を超える分は無効化（削除はされません）

いつでも再開可能

有償プランは、再度ご契約いただけます。
無効化したアカウントも、上位プランへの変更で元に戻せます。
再招待は不要で、利用履歴・所属グループ・権限もそのまま戻ります。

Dive は『お客様のノウハウは、お客様のもの』という方針を、運用設計で守ります

■ 詳細はヘルプセンター「有償契約のプランが終了したらどうなる？」: https://help.divedx.com/hc/ja/articles/5091404250398

© Episotech Ltd.

プランでできること

無料から始めて、使い方に合わせて上げられます。手順書数・ストレージは全プラン無制限

	Free	Lite	Core	Pro	Enterprise
月額（年契約・税別）	**¥0**	**¥10,000**	**¥25,000**	**¥50,000**	**¥100,000**
アカウント数	**3**	**10**	**25**	**50**	**100**
撮った動画から手順書（AI）	1回/日	5回/日	10回/日	**無制限**	**無制限**
今ある手順書の取り込み（AI）	1回/日	**無制限**	**無制限**	**無制限**	**無制限**
ファイルに書き出す	×	MP4	**＋PDF・Excel・Word**	**＋PowerPoint**	**＋自社の様式**
現場で見る（QR・外部共有）	×	◎	◎	◎	◎
教える（コース・設問）	×	×	◎	◎	◎
育てる（実績で育つ力量表・資格）	×	×	◎	◎	◎
一人ひとりに案内（AI検索）	×	×	◎	◎	◎
力量表の Excel 出力	×	×	×	◎	◎
比べる・測る（作業分析）	×	×	×	◎	◎
承認フロー	×	×	×	◎	◎
360度の動画・写真	×	×	×	◎	◎
作成ルール（規程・書き方・文書番号）	×	×	×	×	◎
API・LMS 連携	×	×	×	×	◎
サポート	メール	メール	メール	**＋導入支援・月次相談**	**＋担当者固定**

■ 表示価格は年間契約の月額（税抜）。有償プランを終えても、データは消えずに無料プランへ自動で移ります。　■ 有償プランは、アカウントを追加できます。

■ 詳細比較表・公開ROIシミュレーター: https://divedx.com/ja/pricing

© Episotech Ltd.

よくある質問

Q 今の文書管理システムと、ぶつかりませんか？

ぶつかりません。正本の管理は今までどおりで、現場で伝え、確かめる所を Dive が担います。印刷して現場に置いていた写しの代わり、と考えてください。

・今の手順書は、Excel・Word・PowerPoint・PDF のまま登録できます。Teams や OneDrive にある既存のファイルも、そのまま取り込めます。
・改訂した時は、Dive の手順書を差し替えるだけです。現場は QR から、公開中の最新版を開きます。
・Dive で作った手順書は、いつもの様式で書き出して、今の台帳にも置けます。

Q 今ある手順書は、作り直す必要がありますか？

作り直さなくて大丈夫です。ファイルのまま登録して、スマホやタブレットで見られます。撮った動画と今の手順書を AI にかければ、見出し・順序・文言は変えずに、手順ごとの動画を付けられます。

Q 動画を撮るのは、大変ではありませんか？

区切らず、いつも通りを撮るだけです。話すのはコツや注意などのポイントだけで構いません。PC の操作は、画面の録画から作れます。

Q AI が作った手順書は、そのまま使えますか？

AI が作るのは下書きです。公開の前に人が確かめて直します。用語集と解析の前提を登録しておくと、社内の呼び方に合わせて書きます。無料プランで、自社の動画で試せます。

© Episotech Ltd.

よくある質問

Q データは安全ですか？AIの学習に使われませんか？

動画はGoogle Cloudの東京リージョンに保管し、動画解析AIの再学習には使いません。ISO/IEC 27001:2022認証を取得し、Assured（第三者評価）は91.1点です。SSO・名簿の同期・2段階認証の全員必須化・IPアドレス制限・監査ログにも対応しています。

Q 有償契約をやめたら、手順書はどうなりますか？

消えません。Freeプランに移り、手順書・動画素材・利用履歴は削除されません。

Q どんな端末で見られますか？

スマホ・タブレット・PCのブラウザで見られます。アプリは要りません。スマートグラス（10機種以上）、スマホのブラウザでのAR、Meta QuestでのVRにも広げられます。

Q 何から始めればいいですか？

無料プランから始められます。期限はなく、申し込みと設定はWebで5分です。有償プランは、それぞれ14日間の無料トライアルで試せます。手順書の数とストレージは、全プランで無制限です。

© Episotech Ltd.

検討フロー / お問合せ

まずは無料プランで体感 → 必要に応じて上位プラン無料トライアル

① 期限なし / 無料プラン開始



申し込み・設定はWebで完結。5分で開始！

申し込みページはこちら →

② 有償プラン / 14日間 無料トライアル



タイミングを見て、各プランそれぞれ14日間可。じっくり試せる。

トライアル開始方法はこちら →

③ 導入判断



活用レポートで効果を可視化 → 導入による投資対効果の判断材料に

活用レポートについてはこちら →

■ お問合せ

Web https://divedx.com/contact

Mail customer-success@episotech.com (Dive カスタマーサクセス)

スマホで読み取り
→ Free登録 (5分)
https://app.divedx.com/signup

© Episotech Ltd.

多様な人材が活躍する基盤をつくる

Episotech

https://www.episotech.com/

稟議に使える試算や、作業分析・力量表・AR（拡張現実）などの機能の詳細は、
下記ページからダウンロードいただけます

資料出力ページ